

令和4年6月6日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

飼料用イネの展示ほを設置しました

(独)家畜改良センター熊本牧場(場長:^{あらた しんじ}新晋二)では、昨年度に続き、作付面積が拡大傾向にある「飼料用イネ」の展示ほを設置しました。

本年度は、6月2日に田植えを行い、高糖分・極短穂タイプの品種「つきはやか」、「つきあやか」等の稲発酵粗飼料(WCS)向け品種や、飼料用米向け品種等、早晩性の異なる17品種を並べて栽培し、それぞれの品種特性を実物で比較頂けるようにしています。

また、展示ほの生育の様子については、熊本牧場ホームページ(<http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/seed/siryoinetenzio/>)でも定期的に更新していきます。

現地説明等の対応は、随時受け付けておりますので、希望される方は、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。



【主な展示品種】

- ・WCS 向け
「つきはやか」、「つきあやか」、「つきことか」、「ミナミユタカ」
- ・飼料用米向け
「みなちから」、「ミズホチカラ」
- ・兼用種
「夢あおば」、「北陸193号」

写真は昨年度の様子

〈お問い合わせ先〉

家畜改良センター熊本牧場

担当者:種苗課 長野・森

電話:0968-84-3660

FAX:0968-84-3708

URL:<http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/index.html>

「日本の食卓改良と技術で守ります。」

～小さなタネから大きな牛まで～